

2025年1月15日

第63回 関西財界セミナー 開催概要

一般社団法人 関西経済同友会
公益社団法人 関西経済連合会

第63回関西財界セミナーの開催概要につきましては、下記の通りと致しましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 基本認識

第63回関西財界セミナーは、阪神・淡路大震災から30年を迎える神戸で、「強靱に、果敢に、羽ばたく関西～未来社会のデザイン元年～」をテーマに開催します。

近年、自然災害が頻発化し、2024年元日の能登半島地震においても、多くの方が被災されたことは記憶に新しいところです。南海トラフ地震の発生も懸念されるなか、改めて事前の備えに向き合うことが必要です。また、深刻な人口減少社会を迎えるわが国において、将来を担う世代へのきめ細かい支援や教育はもとより、国際競争力を持った力強い地域・都市づくりが喫緊の課題になっています。

一方、国外に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻や中東紛争の終わりは見えず、東アジアでも緊張感が高まっています。経済安全保障など、混沌とするグローバルリスクに対峙するなか、資源自律経済を意識しつつ、サステナブル社会の実現に向けた循環型経済への道筋をつけることも重要です。

4カ月後に開幕を控える大阪・関西万博が示す未来社会を実現させ、未来社会のデザイン元年として関西から羽ばたく年とするために、今、経営者が議論すべき6つの分科会を設置しました。大いに意見を交わし、明日から実践する契機にしていきたいと存じます。

2. 日 時 2025年2月6日(木)・7日(金)

3. 場 所 神戸ポートピアホテル

4. テーマ 強靱に、果敢に、羽ばたく関西～未来社会のデザイン元年～

5. 主 催 (一社)関西経済同友会、(公社)関西経済連合会

6. 協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(一社)神戸経済同友会

7. 当日スケジュール(予定)

2/6 [第1日]	10:00～10:05	5分	開会(国歌斉唱)
	10:05～10:15	10分	開会挨拶(宮部代表幹事)
	10:15～10:20	5分	兵庫県知事挨拶
	10:20～10:25	5分	神戸市長挨拶
	10:25～10:40	15分	主催者問題提起(松本会長)
	10:40～11:40	60分	基調講演 僧侶 松本 紹圭 氏
	11:45～12:35	50分	昼食
	12:40～14:40	120分	分科会討議(第1セッション)
	14:40～15:00	20分	休憩
	15:00～17:00	120分	分科会討議(第2セッション)
	17:10～18:00	50分	交流会
2/7 [第2日]	09:00～10:40	100分	分科会討議(第3セッション)
	10:40～11:00	20分	休憩
	11:00～12:20	80分	分科会討議(第4セッション)
	12:25～13:25	60分	昼食
	13:30～14:10	40分	関西財界セミナー賞 2025 贈呈式
	14:20～15:20	60分	特別講演 元民放解説委員長、海洋冒険家 辛坊 治郎 氏
	15:30～16:00	30分	分科会議長・モデレーター報告
	16:00～16:10	10分	顧問団代表所感(鳥井会頭)
	16:10～16:20	10分	主催者声明・閉会挨拶(永井代表幹事)
	16:30～16:50	20分	主催者代表記者会見
	16:30～17:20	50分	懇親パーティ

8. タイムテーブルと各分科会の概要

(敬称略)

2月6日(木)

◆全体会議 [10:00～11:40]

- | | | |
|-------------|----------------------|---------|
| (1)開 会 | | |
| (2)開会挨拶 | 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事 | 宮 部 義 幸 |
| (3)開催地自治体挨拶 | | |
| (4)主催者問題提起 | 公益社団法人関西経済連合会 会長 | 松 本 正 義 |
| (5)基調講演 | | |
| | 講師:僧侶 | 松 本 紹 圭 |
| | 演題:「私たちは『よき祖先』になれるか」 | |

◆昼 食 [11:45～12:35]

◆分科会討議 [12:40～17:00 / 2月7日(金)午前に続く]

第1分科会:ポスト万博を見据えた関西の未来図

2025年4月に開幕する大阪・関西万博では、国、自治体、研究機関、企業、スタートアップをはじめとする多様なプレイヤーによる共創・連携のもと、さまざまな社会課題の解決に向けた技術、アイデアが提示される。どのような未来社会をめざしていくべきか、また、イノベーション、都市ブランディングの観点から、万博に向けた取り組みを万博会期後の関西の飛躍にどのようにつなげていくかを議論し、開幕に向けた期待を一層高めたい。

- セッション構成:①万博を通して描く未来社会～飛躍へのテイクオフ～
 ②未来社会をふまえた産業創造
 ③ポスト万博における関西の未来図を描く

議 長	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 代表取締役副社長 株式会社竹中工務店 取締役会長	村 上 裕 史 難 波 正 人
-----	--	--------------------

問題提起者	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 副会長(理事)、 IBM フェロー、日本科学未来館 館長 メディアアーティスト、2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー、 経済産業省 産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会委員 関西学院大学 名誉教授	浅 川 智 恵 子 落 合 陽 一 角 野 幸 博
-------	---	---------------------------------

備考:関経連担当

第2分科会：日本発・日本型「循環経済(サーキュラーエコノミー)」で新産業創出を目指そう

持続可能な社会の実現には、大量生産・消費・廃棄を前提とする「線形経済」から、資源の効率的・循環的な利用を図る「循環経済」への移行が不可欠である。「線形経済」から「循環経済」へ速やかに移行するために、企業や消費者は、どのように行動変容すべきか？ 欧州を中心にルールメイキングが進むなか、日本発・日本型「循環経済」のあるべき姿はどのようなものか、一社ではできない循環経済をどう構築するかを考える。

セッション構成：①持続可能な社会に向けて企業が持つべき視点と、循環経済への期待および方向性
②海外動向をふまえた日本の目指すべき姿と、持続可能で儲かる循環経済への道筋
③日本発・日本型「循環経済」の実現に向けた企業、消費者、社会の行動変革

議 長	株式会社日本政策投資銀行 常務執行役員 関西支店長 株式会社三井住友銀行 取締役兼専務執行役員	牧 裕 文 道 岡 俊 浩
問題提起者	公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長、 東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 執行役員 株式会社アールプラスジャパン 代表取締役社長	武 内 和 彦 丹 羽 弘 善 大 竹 篤

備考：同友会担当

第3分科会：未来社会を「教育」でデザインする～次世代人材育成における企業の役割～

人的資本の重要性が高まるなか、人材育成の中核を担う大学教育は、高度成長期を通じて定着した均質性重視の枠組みから脱していない。企業および若者の価値観や考え方も変化しており、企業と若者との間に存在するミスマッチは社会的損失であるとの指摘もなされている。学生・大学・企業、それぞれが有する期待と現実にはギャップがあるのではないか。未来社会を『教育』でデザインすべく、次世代人材育成のあり方をホンネで議論する。

セッション構成：①現在の大学教育・学生の現状、および、そこに潜む課題・危機意識の共有
②人材育成機関としての大学(大学教育)に何を期待するのか？
③関係者、とりわけ企業がなすべきは何か？
④未来社会をデザインする次世代人材育成のあり方を考える

議 長	株式会社博報堂 常務執行役員 関西支社長 日本生命保険相互会社 代表取締役副社長執行役員	藤 川 博 章 三 笠 裕 司
問題提起者	関西大学 教育推進部副部長・教授 法政大学 キャリアデザイン学部教授 東京大学・東北大学・北海道大学・お茶の水女子大学 非常勤講師 東京工科大学 工学部教授	山 田 剛 史 児美川 孝一郎 宇 野 健 司 戸 井 朗 人

備考：同友会担当

第4分科会：災害対応における企業および地域の防災力向上にむけて

2025年が阪神・淡路大震災から30年の節目の年であること、また激甚化する災害や南海トラフ地震への備えとして、災害対応における企業および地域の防災力向上は絶えず取り組むべき課題である。防災・減災対策を推進するうえで、企業における自助の視点と、行政との連携や協力によって地域として取り組む共助の視点を持ち、持続可能な国土・社会を目指す関西のありたい姿にむけて取り組むべきことを議論する。

セッション構成：①企業における防災・減災の取り組みと役割
②自治体との連携のあり方
③わが国の災害に対する備えの現状と課題

議 長	バンドー化学株式会社 取締役会長 関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO	吉井 満 隆 山 谷 佳 之
問題提起者	阪神電気鉄道株式会社 代表取締役・取締役会長 関西広域連合 広域防災局長、兵庫県防災監 名古屋大学 名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長	秦 雅 夫 池 田 頼 昭 福 和 伸 夫

備考：関経連担当

第5分科会：激動の国際情勢下におけるグローバルリスクと企業経営

グローバル資本主義の拡大とともに相互依存を強めてきた世界経済において、米中のデカップリング、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、中東情勢の不安定化、経済安全保障への対応など、企業経営に大きな影響を与える変化が生じている。また、2024年は米国大統領選をはじめ多くの国・地域で大統領選や総選挙が行われたことから、今後、更なる環境変化が見込まれる。このような情勢下、企業はグローバルリスクをどう見極め、どのような戦略をとるべきかについて議論する。

セッション構成：①企業を取り巻く国際情勢とリスク認識
②サプライチェーンに影響を与えるリスクファクター
③グローバルサプライチェーン戦略の建て方

議 長	三菱商事株式会社 執行役員 国内開発担当(兼)関西支社長 丸一鋼管株式会社 代表取締役会長兼 CEO	船 山 徹 鈴 木 博 之
問題提起者	キャノングローバル戦略研究所 理事・特別顧問 慶應義塾大学 総合政策学部教授 株式会社三菱総合研究所 ビジネスコンサルティング本部 経営マネジメントコンサルティンググループ 特命リーダー チーフコンサルタント／主席研究員 豊田通商株式会社 執行幹部 サプライチェーン本部 COO(グローバル部品 SBU 担当)	宮 家 邦 彦 白 井 さゆり 丸 貴 徹 庸 金 澤 勇 一

備考：関経連担当

第6分科会:これからの都市の力

これからの都市は、どうあるべきか？効率性や大量消費を前提とした従来の都市づくりは、人口減少などを背景に、コミュニティ衰退、市民の公共への参画意識の低下などを招いた。都市機能が停滞しつつある今、都市の構成員である企業人の私たちは、行政、住民などのステークホルダーと、どのような役割を担うべきか。「いのち輝く未来社会」元年の今、震災後「創造的復興」に取り組んだ神戸の地で、都市との関わり方を見直し、行動へつなげる。

- セッション構成:①これまで「都市の力」を規定してきたものは何か？
②われわれが目指すべき、これからの都市とは？
③これからの都市における企業・企業人の使命とは

モデレーター 株式会社りそな銀行
営業サポート統括部 本業支援グループ 統括グループリーダー 藤原 明
ジャトー株式会社 執行役員 上野 信子

意見発表者 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 代表理事、
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 専務執行役員 南 雲 岳 彦
株式会社 E-DESIGN 代表取締役 忽 那 裕 樹
一般社団法人コード・フォー・ジャパン プロジェクトマネージャー、
特定非営利活動法人 Code for OSAKA 副代表理事 東 健二郎
福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.) 事務局長 石 丸 修 平

備考:同友会担当

◆交流会 [17:10~18:00]

2月7日(金)

◆分科会討議 [9:00~12:20/2月6日(木)から継続]

◆昼 食 [12:25~13:25]

◆全体会議 [13:30~16:20]

- (1)関西財界セミナー賞 2025 贈呈式
- (2)特別講演 講師:元民放解説委員長、海洋冒険家 辛 坊 治 郎
演題:「大阪・関西万博への期待と万博後の関西経済について」
- (3)分科会議長・モデレーター報告
- (4)顧問団代表所感 大阪商工会議所 会頭 鳥 井 信 吾
- (5)主催者声明・閉会挨拶 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事 永 井 靖 二

◆懇親パーティ [16:30~17:20] (並行して、主催団体トップによる記者会見)

以 上